こちら

議会広報部

2014.1
第36号

発　行／周防大島町議会
〒742-2192
周防大島町大字小松126-2
TEL：0820-74-1003(議会事務局)
編　集／議会広報編集特別委員会
印　刷／(有)日良居タイムス

今回の主な内容

●12月定例会……2～3P
●一般質問 ……4～5P
●視察研修報告･町内施設視察 …5～7P
●編集後記　その他……7P
●新年の抱負 ……8P

片添ヶ浜の初日の出

12月定例会

平成25年第４回定例会（12月定例会）が12月11日から18日までの８日間の日程で開かれました。

議会初日、議案の説明を受け、補正予算の審議、消費税改正等に伴う関係条例の一部改正等を行いました。17日に一般質問、町内公共施設研修を行い、最終日の18日には、討論・採決が行われ、補正予算案９件等、全68議案すべて可決いたしました。

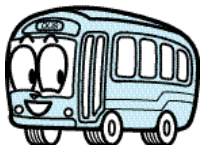
条例の一部改正

いずれも平成26年４月１日より施行

周防大島町公民館条例
周防大島町東和総合センター設置条例
周防大島町大島文化センターの設置及び管理に関する条例

周防大島町学習等供用施設設置条例
周防大島町歴史民俗資料館条例
周防大島町町衆文化伝承の館条例
周防大島町町衆文化の薫る郷公園条例
周防大島町竜崎陶芸の館の設置及び管理に関する条例
日本ハワイ移民資料館条例
周防大島町瀬戸内民俗館とうわ設置条例
周防大島町町民運動場設置条例
周防大島町陸上競技場設置及び管理に関する条例
周防大島町B&G海洋センターの設置及び管理運営に関する条例
周防大島町しらき野活センター設置条例
周防大島町総合体育館設置条例
周防大島文化交流センター設置条例
周防大島町たちばなケアプラザ設置条例
周防大島町廃棄物の処理及び清掃に関する条例
周防大島町斎場条例
周防大島町簡易水道事業給水条例
周防大島町公共下水道設置及び管理条例
周防大島町農業集落排水処理施設設置及び管理条例
周防大島町漁業集落排水処理施設設置及び管理条例
周防大島町農村環境改善センターの設置及び管理に関する条例
周防大島町農村交流伝承館設置条例
周防大島町立橘ふれあいセンターの設置及び管理に関する条例
周防大島町農業者健康管理センター使用条例
周防大島町産地形成促進施設設置条例

周防大島町農産物加工センターの設置及び管理に関する条例
周防大島町農水産物等集出荷施設条例
周防大島町共同作業所施設設置条例
周防大島町市民農園の設置及び管理に関する条例
周防大島町漁具保全施設条例
周防大島町自然休養村管理センター設置条例
周防大島町片添ケ浜温泉条例
周防大島町営久賀駐車場条例
周防大島町営橘駐車場条例・周防大島町海岸占用料等徴収条例・周防大島町病院等事業使用料及び手数料徴収条例
周防大島町公営企業局使用料及び手数料徴収条例
周防大島町ながうらスポーツ滞在型施設等の設置及び管理に関する条例
周防大島町東和農林水産物直売所設置条例
周防大島町サン・スポーツランド片添設置条例
周防大島町やしろ郷ふれあいの里施設の設置及び管理運営に関する条例
周防大島町片添ケ浜温泉遊湯ランド設置条例
周防大島町青少年旅行村設置条例
周防大島町陸奥野営場設置条例
周防大島町陸奥記念館設置条例
周防大島町なぎさ水族館設置条例
周防大島町総合交流ターミナル設置条例
周防大島町久賀ふるさと館の設置及び管理に関する条例
周防大島町立ウインドパークの設置及び管理に関する条例
竜崎温泉潮風の湯設置及び管理に関する条例
周防大島町星野哲郎記念館の設置及び管理に関する条例



周防大島町スクールバス条例
周防大島町地区体育館設置条例
周防大島町立小・中学校施設使用条例
周防大島町しまとぴあスカイセンターの設置及び管理に関する条例

規約の変更等

山口県市町総合事務組合の共同処理する事務及び規約

同意案件

周防大島町固定資産評価審査委員会委員

竹本厚三氏（椋野）
田中忠治氏（出井）
中村鈴美氏（森）
東原平典氏（東安下庄）

議員発議可決

「道州制導入」に断固反対する意見書

これまで道州制に関し、「絶対に導入しないこと」と町村議会議長全国大会や都道府県会長会において決定し、政府・国会に対し適時要請をしてきた。しかしながら、与党からは、道州制の導入を目指す法案提出の動きがみられ、また、野党の一部からは、既に「道州制への移行のための改革基本法案」が第183回国会へ提出され、衆議院内閣委員会において閉会中審査の扱いになっている。

これらの法案は、道州制導入後の国の具体的なかたちを示さないまま、期限を区切った導入ありきの内容となっており、地方分権改革推進委員会の答申内容の実効すらままならない状況で、事務権限の受け皿という名目のもと、ほとんどの町村は事実上の強制合併を余儀なくされ、住民と行政との距離が遠くなり、住民自治が衰退してしまうことは明らかである。効率性や経済性を優先し、地域の伝統や文化、郷土意識を無視してつくり上げる大規模な団体は、住民を置き去りにするものであり、到底地方自治体と呼べるものではない。

よって、道州制導入を断固阻止するためには、全国の各町村から「導入反対・法案反対」の声を一斉に上げ、すべての町村が一丸となって、この動きに対処していくことが必要である。（提出理由要旨）

補正予算（12月補正）

平成25年度補正予算

（千円）

		増減	総額
一般会計		6,559万	150億7,064万
特別会計	国民健康保険	324万4	36億5,945万9
	後期高齢者医療事業	▲15万9	4億2,545万3
	介護保険事業	▲374万3	33億6,964万7
	簡易水道	▲132万6	8億3,617万3
	下水道	312万8	3億8,670万1
	農業集落排水	154万2	3億3,189万
	渡船	▲308万3	8,096万8
公営企業局		▲9,816万3（収益的収入）	48億5,145万9
		▲9,809万3（収益的支出）	53億5,523万6
		632万5（資本的支出）	24億6,698万

11月臨時議会

～平成25年11月22日開催～

同意案件

周防大島町教育委員会委員
中村篤生氏

新議長、新副議長の選出

議長
久保雅己

副議長
魚原満晴

補正予算（11月補正）

平成25年度補正予算

（千円）

	増減	総額
一般会計	864万2	150億505万

一般質問

「空き家等の適正管理に関する条例」の効果、実態は？

今元直寛 議員

問 空き家等の適正管理に関する条例が施行され８ヶ月、条例の作成の検討に入った３年前、全国でも施行自治体は数件、県内でも３件程度であったが現在では272の自治体で制定されている。

条例の周知度やその効果、制定後の実態は。

答 広報や連絡員集会等で周知されつつある。空き家の情報は、まず自治会や近隣の皆さまが空き家の所有者に対し適正な管理を要請していただき、それでもなお、適正管理が行われていない家屋について各総合支所に相談していただくこととなる。町は情報に基づき現地の確認を行い管理不全と認められるものには「助言」「指導」を行っていく。条例制定後の情報提供の件数は町全体で34件、内倒壊の危険性があるもの18件、その内解体された家屋は７件、公共施設で年内に取り壊すもの16件となっている。

問 今後の課題としては、取り壊した後の固定資産税の軽減措置、また、定住・移住者の家屋として再利用を促し、空き家を廃屋にしないなどの方策を考えていくことが必要では。

答 空き家対策は国、県に於いても法制化の動きもあり、その方向を見守っていきたい。

「安心の町づくり」と「ふるさと寄附金」その現況は？

尾元 武 議員

問「ふるさと寄附金」納税制度が開始されてから、これまでの納付と活用状況を問う。

答 平成20年から昨年度まで平均27件で212万円の寄附金を頂き本年度はすでに120件（284万円）の申し込みがあり急増。お礼として地元特産品のPRと寄附促進の相乗効果を図り、特産品詰め合わせセットをお届けしている。新タイアップ事業者の募集も行いたい。また寄附金は「周防大島ふるさと応援基金」として、安心して暮らせる町づくりに活用している。来年は合併10周年、その記念行事の一環としての企画提案を頂いたが本町の魅力を知って頂くためにも十分検討したい。

問 自主防災組織は結成後いかに機能していくかが課題である。その対応は。また過疎高齢化の中、結成も難しい地区もあると聞く。推進のため全職員による防災のための地域担当制を導入しては如何か。

答 本年11月末現在で自主防災組織は42地区で認定。リーダー育成のため先般「自主防災リーダー研修会」を開催。今後も積極的な支援を行なう。また全職員による「地域担当制」は大変有効的ではあるが対応が難しい。しかし結成時に於いては地域の一員として積極的に参加するよう指導したい。

問 防災行政無線の第一の目的は緊急情報の伝達にあるが通常は、行施無線として農協からの連絡、イベント案内や健康福祉関係の案内等である。住民は変化がないと緊急情報を聞き流すのではと不安に思っている。対応を願う。

答 チャイムの後、通常放送との混同が避けられるように「緊急情報です。または防災情報です。」と放送した後本文を読み上げるよう緊急情報を強調した方法で放送するように改善したい。

ここが聞きたい!!
3名が登壇

消費税引き上げは病院経営を圧迫！

広　田　清　晴　議員

問　４月から消費税が８％になるが、消費税の引き上げによる患者や企業局の負担はどのくらい増加するのか。

答　以下の24年度決算ベースにて参考にしてほしい。

患者負担の増（消費税３％増の総額）

東和病院……1,002,474円
橘　病院……377,651円
大島病院……1,033,096円
やすらぎ苑……58,035円
さざなみ苑……106,568円

※　病院では差額ベッド代、おむつ代、健康診断がおもなもの。

企業局の負担増

（３病院、２老人保健施設、看護学校）

薬代など材料費……2,500万円
経　　費……1,700万円
建設改良……3,800万円

※　負担増は病院離れを引き起こし企業局の負担増は経営を圧迫する。

問　住宅リフォーム助成事業は協議から４年が経過し、予算付け後３年が経過した。新年度予算編成においても予算付けを求める。

答　３年間の地元波及効果は６億６千万であり一定の波及効果があった。引き続き検討する。

視察研修報告　鳥取県日南町

議員全員による行政視察研修を10月28日、29日の両日、鳥取県日南町で行った。

研修先の日南町は、「雇用の創出」・「定住化対策」・「再生可能エネルギーの活用」及び「安心・安全」が実感できる生活環境づくりに取組んでおり、先進地として大いに参考となった。

研修内容は、再生エネルギー、まちづくり協議会、自治体病院運営、さらに介護福祉センターの見学である。

中でも再生エネルギーの町営太陽光発電所は、昨年12月に売電を開始、定格出力340kw、総事業費1億6,000万円、発電見込約27万kwh売電見込年約1,100万円になる。

また、まちづくり協議会の今後の課題は、地域ごとの活動をまちづくり協議会とまちづくり協議会・町全体に繋ぐ仕組みづくりが必要であり、安心・安全な地域の構築、さらにはまちづくり協議会活動の魅力をアップさせ、活動を担う後継者の育成が必要とのことであり本町にとっても大きな課題と考えられる。

日南福祉会では、病院と担当課が密接な連携のもと医療、福祉、行政が一体となったサービスを提供している。

過疎・高齢化であっても生まれ育った郷土を愛し、ふるさと大島に安心して住みたい、住んでよかった町づくりに向けて本町の対応策に役立てていきたいと考える。

視察研修報告

阪神淡路大震災後の防災・減災対策を視察

防災対策特別委員会 委員長　尾　元　　武

去る９月30日、委員全員参加のもと兵庫県淡路市「防災安心センター」を翌日には神戸市「防災センター」を研修視察した。淡路市に於いては平成７年の阪神淡路大震災を教訓とした防災減災対策等について多岐にわたり質問がなされた。

防災安心センターは１階が小中学校の給食センターだが災害時には炊き出しの拠点（4,500食が可能）となり全避難所、災害弱者への配食センターとして活用し、２階の地域交流センターは多目的ホールが災害対策本部に変わる防災の拠点施設であった。その周辺は災害発生時には避難所、ヘリポートとして利用できる「交流広場」や太陽光発電のメガソーラーシステムが整備されていた。

質疑応答の総括としては大災害の発生時に、消防や警察、自治体職員がすぐに駆けつけるとは限らない。最初に立ち向かうのは、自分たち自身でありその地域のコミュニティ組織である。いかに自分の命を守りお互いが助け合い自分たちの町を守るか「自助」「共助」の精神をそれぞれが持ち正しい知識を身につけて災害に備えておくことが必要である。

また気がかりなのはあれ程高まっていた防災意識が時間の経過とともに「風化」しつつあるという報告であった。私たちも決して例外ではないと思う。野島活断層を見学し震度７を体感し、また地震の状況の説明を受け改めて「備え」について考えさせられた。災害とは当然地震だけではなく本町なら高潮・風水害等あらゆる事態を想定し、防災意識は常に持っておく必要性があることを今更のように痛感した。

視察研修報告

過疎高齢化が進む町の活性化対策を視察

地域活性化特別委員会委員長　今　元　直　寛

去る、11月、過疎高齢化の進む鳥取県智頭町を訪問した。人口7,718人（高齢化率35.5%）町の面積の内93.9%が山林で、主たる産業は、杉を中心とした林業である。

この町には特筆すべき組織、住民で構成された「百人委員会」というものがある。委員会が企画し、町と予算折衝をし、可決されれば住民が運営する構図となっている。住民が持つアイデアや思いを直接町づくりへ繋げて活性化を図っている。

例えば、後継者不足、木材価格の低迷などで森林の手入れもままならない状況の中、１トン当たり３千円の間伐材を、町からの補助で２倍の６千円分の「地域通貨杉小判」を発行。これにより山の手入れが進み、町内の商店街が潤うという好循環を生みだした。また、同町には「疎開保険」というものがある。全国の誰もが加入出来る保険で、災害にあったときは智頭町で７日間の食事つき宿泊を提供するというものだ。１年間無事であれば、特典として地元特産の米や野菜を送り、交流促進にも繋げている。さらに、ＵＩＪターン者や若者を対象とした住宅支援事業があり、住宅や宅地取得に係る経費を助成する等々、画期的なアイデアで町の活性化に努めていた。我が町でも参考にしたい。

公共施設視察研修　ハワイ移民資料館

日本ハワイ移民資料館は、日本とハワイ移民の歴史を基に先人の功績を残すためその実績資料の収集・保存・活用を図り、広く国際友好交流の発展向上に寄与することを目的としており、大島国際交流協会に指定管理者として管理をして頂いている施設である。

建物自体は昭和３年に建てられた二階建ての一軒家でサンフランシスコから戻ってこられた方が当時の価格で３万円（現在で３億円）かけて建てた家である。施設ではハワイへ移民した29,000人（全国分）のデータを検索でき、自分のルーツを探しに来られる来館者もいるようである。その他にも移民の歴史、当時使っていた道具などを見ることができる。

指定管理者である大島国際交流協会は修繕などをできるだけ自分達で行い修繕費などを抑えておられるようでその姿勢には頭が下がる思いである。

利用者は３年前から年間2,100人前後で推移しており決して多い数字ではないが、カウアイ島との交流50周年を迎えるなどハワイと非常に縁が深い周防大島において、日本ハワイ移民資料館は文化財として非常に意義がありこれからも残していくべき施設ではないかと感じる。

工事請負変更契約（専決処分）

（円）

工　事　名	契約の相手方	原　契　約	変更契約の金額
周防大島町立久賀中学校校舎建築工事	白木産業･藤川建設特定共同企業体	４億4,100万	４億4,530万2,900
周防大島町立久賀中学校校舎機械設備工事	（株）大　島　電　気	7,469万　700	7,790万7,900
周防大島町立久賀中学校校舎電気工事	（株）三光電気工業所	6,940万5,000	7,027万1,250

議員派遣の予定

行事内容	日　程	開催地	目的・参加議員
東京久賀倶楽部	平成26年１月19日	東　京	会員との情報交換　吉田議員
東京たちばな会	平成26年２月22日	東　京	会員との交流　平野議員
関西橘町人会	平成26年未定	大　阪	会員との意見交換　中本議員

編集後記　午年“飛躍、躍進”!!

明けましておめでとうございます。

今年もスタッフ一同アイディアを込めて、わかりやすい議会広報をお届けいたします。

さて、今年こそはと、「夢と希望」を抱いて初春をお迎えのことと存じます。また、家族全員の「幸福と健康の年」であってほしいと祈りを捧げたことと思います。

この一年間皆様とともに、山積する課題にチャレンジする勇気をもって頑張って参りましょう。（平川）

（左から）平野 和生、濱本 康裕、松井 岑雄、魚谷 洋一、平川 敏郎、田中隆太郎

議会広報・議事録を「周防大島町ホームページ」で公開しています。
周防大島町ホームページ　http：//www.town.suo-oshima.lg.jp

なお、各図書館には議事録を備えています。

新年の抱負

新年議長挨拶

議長　久保雅己

新年明けましておめでとうございます。

このたびの議会改選で議長の重責を担うこととなりました久保でございます。よろしくお願いいたします。

周防大島町では、椎木町長が2期目に入り厳しい財政状況の中で「元気にこにこ　安心」の町づくりに向けて、「定住対策」、「防災安全対策」、「健康づくり」と重点的に町政運営を頑張っておられることに敬意を表するものであります。また、今年は合併10周年を迎える記念すべき年であります。

町民の皆様と町執行部、そして議会の私達が力を合わせ、心を合わせて、さまざまな課題に取り組み、町政発展の為、執行部と議会が両輪となって、町民の負託に応えるよう議員一同、一生懸命頑張っていく所存であります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

副議長　魚原満晴

「粒粒辛苦」

皆様との対話を大事に今年も頑張ります。

総務文教常任委員会

委員長　田中隆太郎　有言実行をモットーに議員活動をします。

副委員長　吉田芳春　住民の皆様がより快適に暮らせるよう日々努力します。

委　員　荒川政義　時代の流れが早すぎて議論を尽くす前に時代にとり残されぬ様頑張る。

〃　尾元　武　町政誕生十周年、節目重んじ初春に、初心忘れず、この町と共に！

〃　平川敏郎　活力ある夢のもてる町づくりに向けて努力します。

〃　新山玄雄　元気で和やかな安心して暮らせる町づくりを進めていきます。

民生常任委員会

委員長　魚谷洋一　今年も全力投球でがんばります。

副委員長　広田清晴　原発・消費税・秘密保護法・基地問題等々安倍暴走政治ストップ。

委　員　平野和生　地域の声を行政に届けるよう努めます。

〃　久保雅己　上記

〃　魚原満晴　上記

建設環境常任委員会

委員長　松井岑雄　本年も町民お一人お一人を大切に人間主義で更に前進‼

副委員長　今元直寛　合併十周年財政の安定化・町の活性化等、徹底検証の年だ。

委　員　中本博明　本年もクリーンな政治と防犯・防災に全力を尽くします。

〃　濱本康裕　初心を忘れず、精一杯働きます。

〃　小田貞利　地域格差なく、公平な行政サービスが受けられるよう努めます。